



# コミ協おぎしま



## マスコットキャラクター

# 『いなぼっぼ』

荻島地区コミュニティ推進協議会

会長 会田 雄一

令和元年に「荻島らしさ」を生かし、「誰からも親しまれる」マスコットキャラクターを作ろうと地区内の小中学校の児童・生徒から作品を募集しました。その結果、50点の応募の中から、当時西中学校2年生霜鳥さんの「いなぼっぼ」が大賞に選ばれました。

すぐにキャラクター化し、皆様にお披露目するところでしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり事業が止まってしまいました。

しかしながら新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、様々な事業が再開される中、満を持して荻島地区コミュニティ推進協議会のマスコットキャラクター「いなぼっぼ」を発表いたします。

今後は様々な事業を「いなぼっぼ」と共に展開していきますので、「いなぼっぼ」をどうぞよろしくお願いたします。

「いなぼっぼ」の作成にあたって、霜鳥さんからコメントをいただきました。

コミ協マスコットキャラクターへ応募した当時は中学2年生でした。大賞という名誉ある賞をいただきありがとうございます。

作成にあたっては、皆さんに親しんでいただけるよう、にこやかな優しい顔に描くことを心がけました。

「いなぼっぼ」という名前の由来は、荻島地区で盛んな稲作の稲穂、荻島地区センターの愛称である「たんぼぼ」、越谷市の鳥である「しらこぼと」に由来して名づけました。

今後、荻島地区コミ協のマスコットキャラクターとして、末永く親しんでいただけたらとてもうれしいです。

## 第52回荻島地区 体育祭

荻島地区体育祭実行委員会  
委員長

関根 久治

昨年の荻島地区体育祭は、参加者の健康面を配慮してお昼過ぎに終わるようプログラムを編成し、市民体育祭の日程が早まったことで例年より1週間早い令和5年9月17日(日)に開催されました。

走ったり、玉を入れたり転がしたりなど、選手や応援する人が楽しんでいる光景を見るのは4年ぶりです。中でも自治会対抗種目の総合優勝争いが接戦となり、楽しい時間があつという間に過ぎていきました。

前日の準備からご協力いただいた実行委員、そして当日参加していただいた選手及び応援してくださった皆様、ありがとうございます。



## 子ども農業体験事業

稲かり体験をいっしょに  
荻島小5年1組 稲垣ひまり

私はこの稲かり体験をして、お米の大切さをより知ることができました。

「お米」というのは毎日、給食や夜ごはんにぜったいに出るので、私は出てくるのが当たり前だと思い、食べていました。でも、この学習をして、お米をつくる大変さを感じました。今は機械だけど、昔は今回のように手作業で稲かりをしてきたと思うとすごいです。だから、これからは「お米」を大切に、残さず食べられるようにしたいです。日本のおいしいお米を食べ続け、お米を作ってください。人達に感謝していきます。

貴重な稲かりを体験させていただき、ありがとうございました。

稲刈り体験をいっしょに  
荻島小5年2組 伊豫 空翔

ぼくは、稲刈りを体験してみても大変だと思いました。かまを使って稲を刈ることはかなり力が入り、苦戦しました。そこで、「機械は必要なんだ」と改めて実感しました。昔の人は機械なしで、手作業で稲刈りをしていてすごいと感じました。

暑かったけれど、とても貴重な体験をすることができてよかったです。米づくりは稲刈りだけでなく、他にも多くの作業があることを学習しました。米づくりは大変な作業でしたが、みなさんのおかげで楽しんで体験することができました。これからは農家の人に感謝してお米を食べたいです。





## 花いっぱい運動



環境部会 部長  
松沢 浩之

今回も皆様のご協力により環境部会の花いっぱい運動が事故などもなく継続できています。

今年の夏は猛暑と少雨により枯れてしまった花などがあり今年の夏の花は何が良いのか部会内で考え中があります。

11月4日(土)に花苗(パンジー、ノースポール、葉ぼたん、キンセンカ)の定植を行いました。多くの方々のご協力ありがとうございました。

今後も花植えなど環境部会の活動にご協力をよろしくお願い致します。

## 第50回荻島地区文化祭・第22回荻島まつり



文化祭実行委員会 委員長  
高橋 幸一

第50回荻島地区文化祭・第22回『伝統文化・人と自然がふれあう荻島まつり』が11月19日(日)に荻島地区センター・公民館にて合同で開催されました。尚、文化祭はめでたく半世紀の節目を迎えました。

会場では発表・演舞や展示・紹介コーナーがあり、活動団体と荻島小学校お囃子クラブの一年間の活動の成果発表の場でもあり全て素晴らしい内容でした。さらに、荻島味覚体験・直売・模擬店やイベント、フリーマーケットなどもありました。天候にも恵まれ、地域の方々大勢が来場され、見たり・聞いたり・食べたりと笑顔溢れ大いに賑わい、コロナ禍前のようない日でした。

日頃から地区センターでは多くの団体が活動しておりますので興味のある方は地区センターにお問い合わせください。そして一年間、練習や活動に励み人生を謳歌し、発表しましょう。開催には役員及び関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。



荻島まつり実行委員会 委員長  
会田 雄一

11月19日(日)に第22回『伝統文化・人と自然がふれあう荻島まつり』が4年ぶりに地区文化祭との合同で通常開催となりました。

当日は、荻島小学校児童による「お囃子」や「子どもイラストコーナー」の展示・表彰式、「子どもゲームコーナー」での体験、また、地元野菜をふんだんに使った「おぎしま汁」の販売などを行いました。ご来場いただいた皆様は、荻島地区ならではの伝統文化や農業・自然を地域の方々との交流を通して感じていただけたのではないかと思います。

荻島まつり実行委員会をはじめ、多くの皆様のご協力により盛大に開催できたことに感謝申し上げます。



## 令和5年度 出羽・荻島地区二十歳のつどい



出羽・荻島地区二十歳のつどい実行委員会  
副実行委員長  
川嶋 桃子

1月7日(日)に行われた出羽・荻島地区二十歳のつどいで青年実行委員を務めさせていただきました。

昨年までの式典は、新型コロナウイルスの影響から各中学校で実施されていましたが、今年度は出羽・荻島地区合同により文教大学で実施されました。久しぶりの合同開催ということで、変更点など臨機応変に対応することが多くありましたが、実行委員の皆様や地域の方々のご協力のおかげで式典を行うことができました。改めて感謝申し上げます。式典や催し物では、恩師の方々にもお越しいただき、数年ぶりに再会した友人と思えば話に花を咲かせ、有意義な時間を過ごすことができました。

まだまだ未熟な点もありますが、家族や友人、地域の方々の助けを借りながら、私たちは二十歳としての自覚を持ち、目標に向かって未来を担う青年として、恥じぬよう日々精進してまいります。

### 編集後記

前期の編集後記でも書きましたが、数年ぶりにコミ協の事業が通常に近い形で年間を通して開催出来た事を、この紙面をもって改めて実感しています。どうなる事かと思いつつ日々過ぎておりましたが、今日まで来られたことをありがたく思っております。また次年度も原稿依頼にご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

広報部会

### 「盛人の集い」式典中止について

まず始めに、古希をお迎えになられた皆様には謹んでお祝い申し上げます。今年度はコロナ感染症も5類になり、数年ぶりに皆様と共に迎えられる「盛人の集い」の式典を行う予定でございましたが、このところのインフルエンザとコロナ感染症の感染者数増加に伴い、式典を行うことが難しいとの見解により中止とし、記念品のお渡しのみとなりましたことをご報告いたします。